

鎌倉市スマートシティ官民研究会 御中

FUJITSU

スマートシティにおける データ連携基盤の役割

2023年2月15日

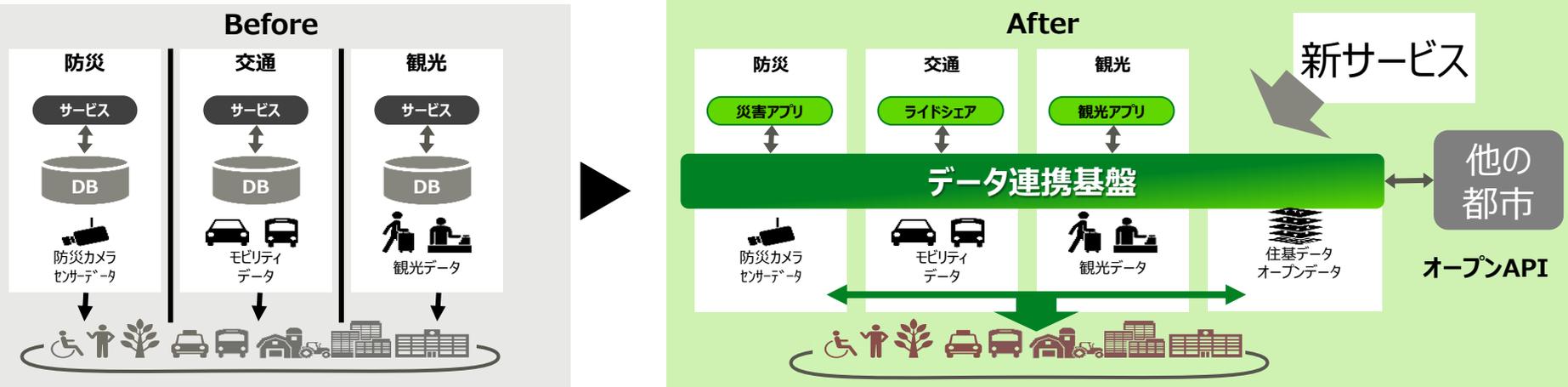
富士通Japan株式会社



- データ連携基盤とは？
- 事業者にとってのデータ連携基盤とは？
- 住民にとってのデータ連携基盤とは？
- データ連携基盤の役割
- データ利活用の事例紹介

データ連携基盤とは

「データ連携基盤」により、サービスや都市間で分野横断的にデータを連携させて、地域のさまざまな課題の解決や新たな価値・サービスの創出へと繋げていくことが可能となります。



①相互運用(つながる)

都市内、都市間のサービス連携や、各都市における成果の横展開が可能に

②データ流通(ながれる)

データを仲介して連携させる仕組み

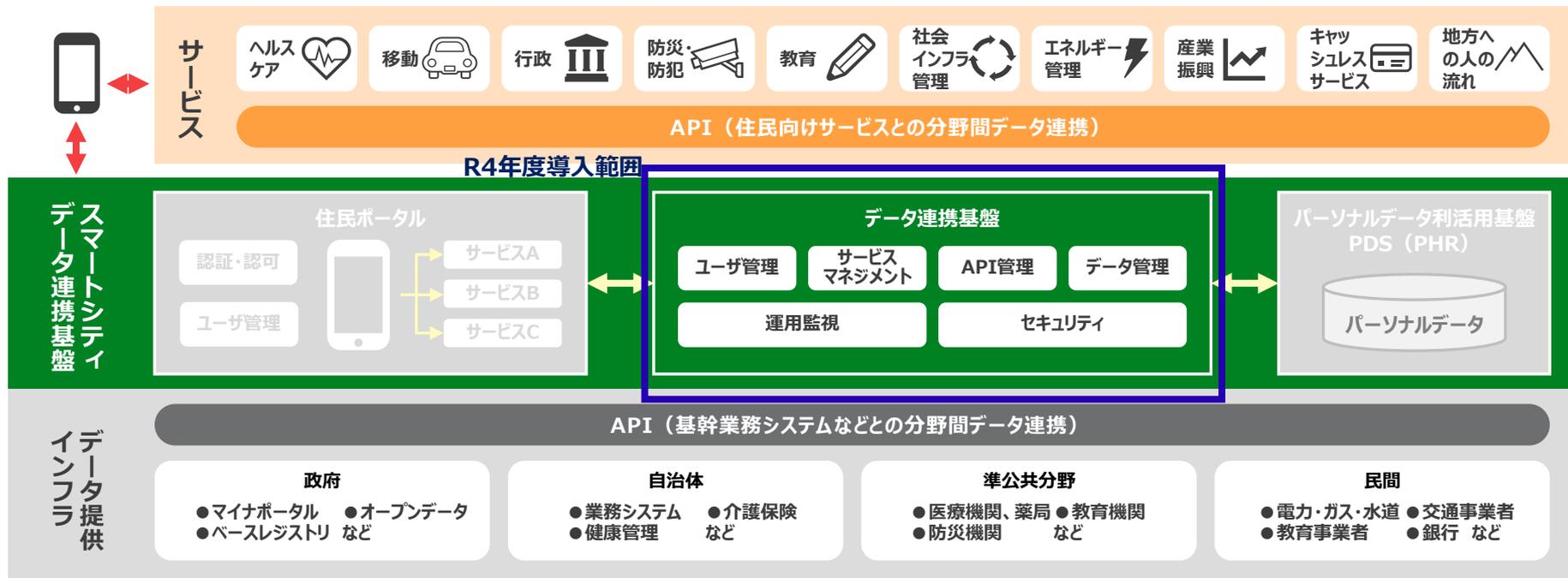
③拡張容易(つづけられる)

機能やアーキテクチャの更新にあわせて拡張を容易にする仕組み

出典:スマートシティワレンスアーキテクチャ ホワイトペーパーを元に富士通作成 <https://www8.cao.go.jp/cstp/stmain/20200318siparchitecture.html>

各都市共通で実装されるデータ連携基盤により、自由なサービスやデータの連携・流通が可能

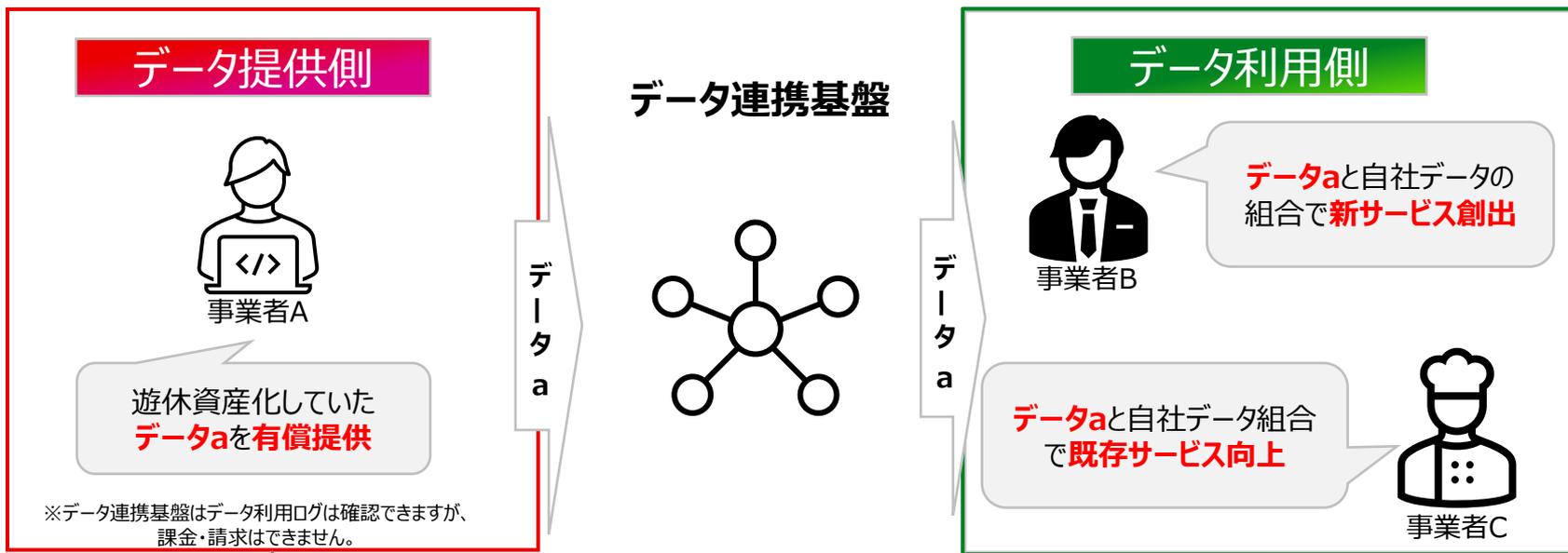
スマートシティデータ連携基盤の全体像



自治体、民間企業、都市間のデータ連携を実現し、最適化されたデータを安全に流通させることで、より効率的な街の運営を実現

事業者にとってのデータ連携基盤とは

鎌倉市内に存在するデータを有効活用することで、各事業者様の**既存サービスの向上**や**新規サービスの創出**を加速化していきます。



データ連携基盤はこのやり取りをN対Nで実現

データ提供側

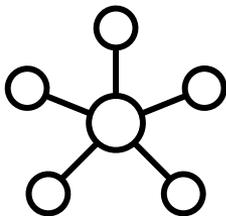


- ・店舗貸出で**新規収入**
- ・cafe客がランチに来店し**新規顧客獲得**

オープンデータ 等

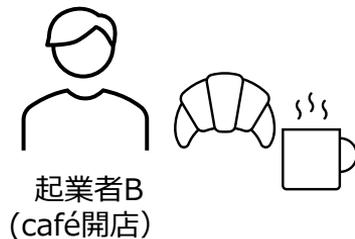
- ・人流データ
- ・施設データ
- ・交通情報 etc

- ・定休日、休憩時間
- ・店舗設備



データ連携基盤

データ利用側



- ・**設備投資少なく**開店
- ・**近隣女子大学生**にデザートセット人気
- ・目の前の**バス停時間**に合わせた焼き立てパン目当ての客来店

データ提供側

- ・性別×年代別のアプリ利用データ
- ・人気観光スポット・ルートデータ



事業者A
(街歩きアプリ)

- ・オンライン予約サービスアプリ
- ・ステーション位置情報
- ・自転車の空き情報



事業者B
(シェアサイクル)

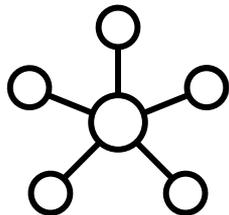
- ・ガイド得意分野、対応言語
- ・ガイド対応日時、費用



事業者C
(ガイド)

オープンデータ 等

- ・人流データ
- ・施設データ
- ・交通情報 etc



データ連携基盤

データ利用側



事業者A
(街歩きアプリ)

- ・シェアサイクルオンライン予約連携やガイドオンラインサービスで、**他アプリとの差別化、新規顧客層**（外国人、自転車利用者、等）**を獲得**

- ・通勤通学の短時間利用客中心だったが、観光利用の**新規顧客獲得**
- ・観光で**長時間利用者が増加**



事業者B
(シェアサイクル)



事業者C
(ガイド)

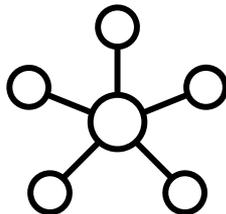
- ・オンラインガイドで**在宅、隙間時間で活動・収入**になる
- ・他事業者連携で**新規顧客増**

データ提供側



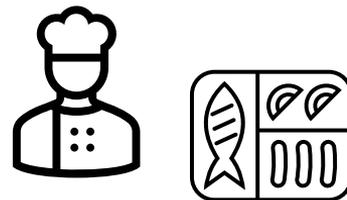
- ・地域事業者と連携した**生徒の食生活サポート可能**

・毎月の給食メニューデータ



データ連携基盤

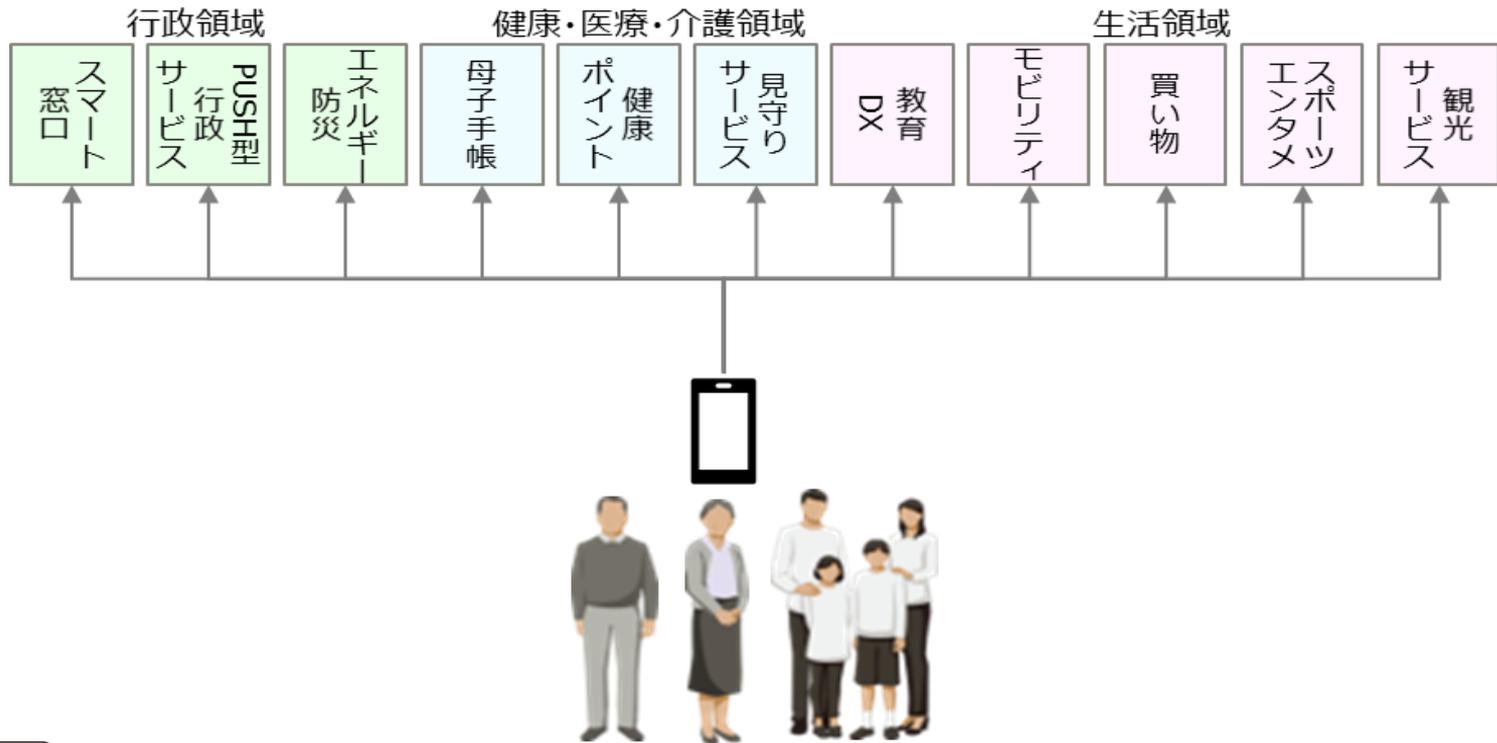
データ利用側



- ・給食メニューを考慮した夕食弁当・総菜販売で、**子育て世代客層が増加**
- ・**子育て世帯ニーズ**（一日の栄養バランス）を**加味**したメニュー提供が可能

住民にとってのデータ連携基盤とは（将来像）

これからは、官民共創により住民の方へ「個別最適化」したサービスの提供が可能になります。



データ利活用による分野横断型住民サービス例（1）

85歳・男性

役所への移動はバス。時間が合わないときにはタクシーを利用している。



課題解決案

- 利用者本人に適したレコメンド通知
- 事前問合せ

- スマートフォン等から届出書の事前申請

- バスやタクシーの自動手配

- QRコードによる情報連携
- タブレットを利用した申請書作成

- 申請書情報と住記システムとの連携
- 他課の案内状や申請書の出力

- バスやタクシーの自動手配
- 乗車後の目的地の変更

関連するデータ、サービス等

- スマート行政手続き
- 住民向けチャットボット

- スマート行政手続き

- オンデマンド交通サービス
- 地域通貨/キャッシュレス

- スマート行政手続き

- スマート行政手続き

- オンデマンド交通サービス
- 地域通貨/キャッシュレス

データ利活用による分野横断型住民サービス例（2）

80歳・女性

週1回、総合病院へ通院が必要。病院までは電車とバスを乗り継ぎ片道1時間



課題解決案

<ul style="list-style-type: none"> • 予約の確認/リマインド 	<ul style="list-style-type: none"> • 生体認証による本人確認 	<ul style="list-style-type: none"> • スマートフォン/アクティバンドの情報連携による健康状態の事前把握 	<ul style="list-style-type: none"> • キャッシュレス即時決済 • 次回診療の簡単予約 	<ul style="list-style-type: none"> • 病院と薬局のデータ連携（処方箋、服薬履歴等） 	<ul style="list-style-type: none"> • 自宅まで薬を配送
---	---	--	--	--	--

関連するデータ、サービス等

<ul style="list-style-type: none"> • 健康PHRサービス • 患者様向けサービス 	<ul style="list-style-type: none"> • 患者様向けサービス 	<ul style="list-style-type: none"> • 健康PHRサービス • オンライン診療 	<ul style="list-style-type: none"> • 地域通貨/キャッシュレス 	<ul style="list-style-type: none"> • 医療連携ネットワークサービス 	<ul style="list-style-type: none"> • 物流センター管理
--	---	--	--	--	--

データ活用による分野横断型住民サービス例（3）

35歳・女性

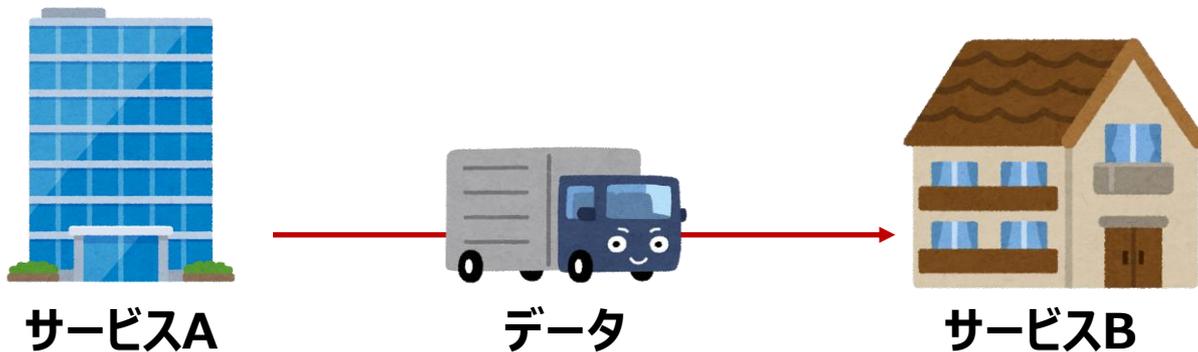
在宅勤務のワーママ。以前は通勤しており突発的な子供の体調不良で急遽早退、お客様や同僚への調整を行ったり、夜間に仕事の穴埋めをし、子供が休学の間は自宅でできる仕事をしながら子供の看病や勉強のサポートもしていた。



課題解決案	<ul style="list-style-type: none"> 生体認証と連携した保護者への登下校通知 	<ul style="list-style-type: none"> 学校ポータルを活用した学校と保護者間の情報連携 	<ul style="list-style-type: none"> 応急処置の相談 通院必要性の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 軽度症状の場合、自宅からオンライン診療を受診 	<ul style="list-style-type: none"> 軽症状の場合、自宅からオンラインで授業に参加 	<ul style="list-style-type: none"> チャットボット/遠隔相談
関連するデータ、サービス等	<ul style="list-style-type: none"> 個人認証 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル連絡帳 	<ul style="list-style-type: none"> 健康PHRサービス 患者様向けサービス 	<ul style="list-style-type: none"> オンライン診療 	<ul style="list-style-type: none"> オンライン授業 デジタルドリル 	<ul style="list-style-type: none"> 患者様向けサービス

データのやり取りに
わざわざデータ連
携基盤は必要な
のか？
～データ連携基盤の役割～

例えばサービスを**建物**、データを**車**に例えたなら



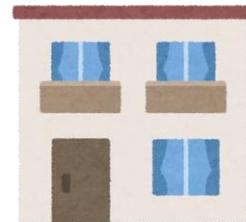
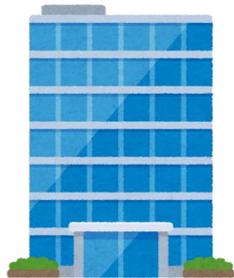
そこには道路や交通ルールが必要ですよね？

それでも 1 対 1 の連携なら**独自のルール**でもいいですが



サービスが増えてくると・・・

Meの国は右側通行よ!!

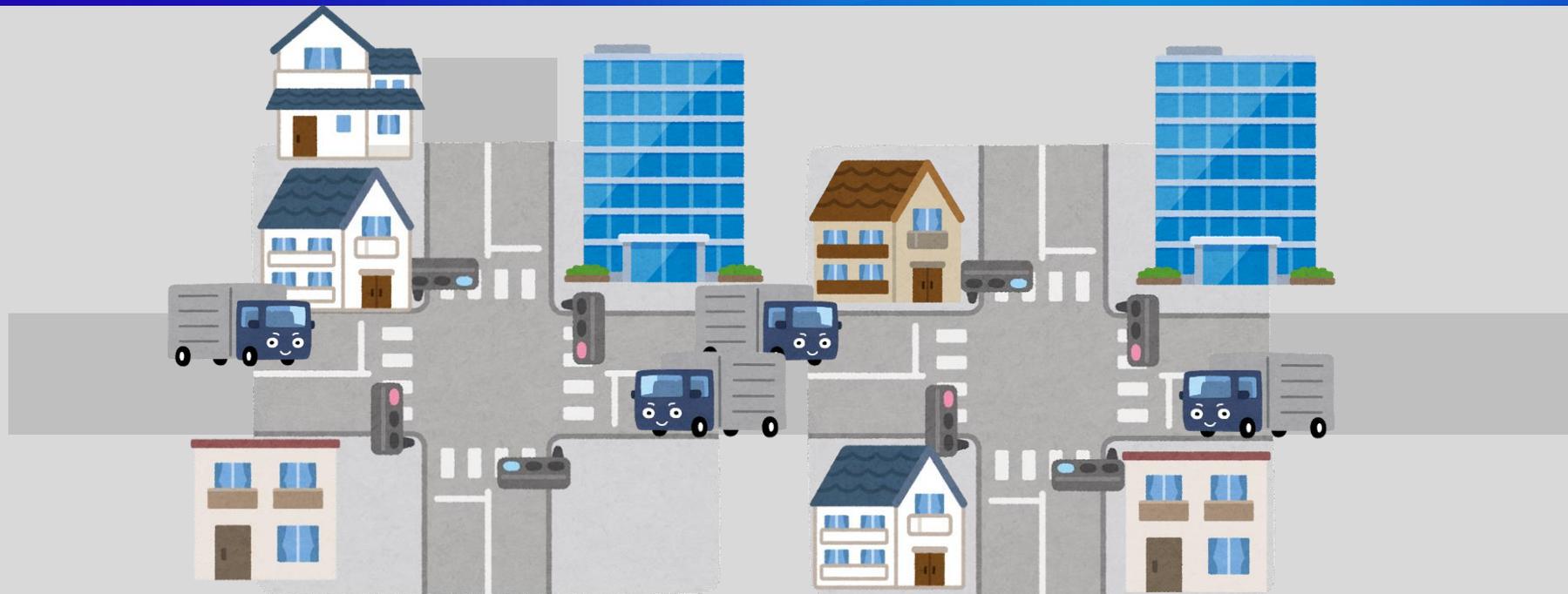


道路が舗装されてないから
田んぼに落ちちゃった



事故多発といった事態に・・・

データ連携基盤を導入することで



データ連携基盤（道路や交通ルール）を整備することで
たくさんの**データ**（車）が**サービス**（建物）間を
安全に、スムーズに行き来できるようになります。

Thank you

